



発行

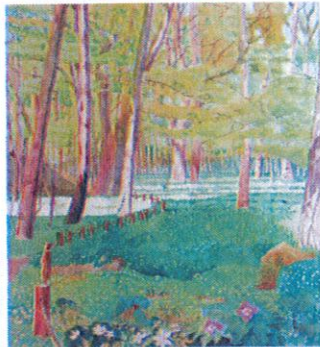
宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

HPはこちら！

先月は太陽フレアが発生し、11日の夜には宮城県内でも数か所でオーロラらしきものが観測され話題になりました。多くの方が太陽と地球の関係に思いを馳せたことと思います。県民の森にも太陽と地球の関係を強く感じさせてくれる場所があります。中央記念館の東側の芝生広場に丸いお山が2つあり、中央記念館を背にして左側のお山の上に日時計があります。6月10日は時の記念日です。天気の良い日はこの日時計の前で太陽と地球と時に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。(所長：森山稔也)

■ふるさとの風景画展■



ふるさとの風景画展
七ツ森と氾濫原
6月3日(月)～6月29日(土) 9:00～16:00

アートクラブひまわり主催、千葉恵右氏の個展が開催されます。県民の森だよりの『スケッチ県民の森』の水彩画でもおなじみです。七ツ森への想いがあふれる、迫力の油絵をご鑑賞ください。

6月3日(月)～29日(土)
中央記念館小ホール

■カラスに注意！！■



週末のお天気の良い日には芝生で手作りのお弁当が最高！と思っているのは人間だけではありません！？

カラスにご注意ください。お弁当やレジ袋は放置厳禁！！カラスはご馳走がどんなものに入っているか知っています！

食べ物は車に置いておくか、芝生に置く場合はお留守番もつけてくださいね。

県民の森のお勧めスポット～NO29～

「ENEOSの森」は 木の実が鈴なり！！

『宮城県ENEOS(エネオス)の森』は、宮城県森林インストラクター協会とENEOS株式会社が協働で森づくりを行っている場所です。サクラ見本園から車道を上がっていくとグランディ21へ通じる道があります(車止めがありますが人は自由に歩けます)。遊歩道に入って右側が『宮城県ENEOSの森』で、それを示す標柱が立っています。

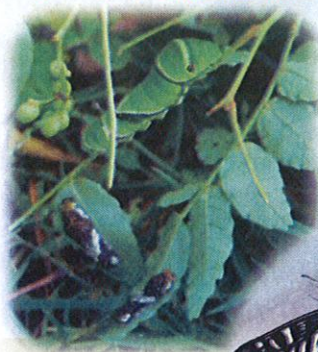


遊歩道沿いには、ヤマグワ、ヒメコウゾ、シューンベリー、アキグミ、ウグイスカグラ、サンショウ、など、美味しい木の実が生る樹木がたくさん植えてあります。

この森には子どもたちや企業の人達がやってきて、枝を切ったり遊歩道を整備したり、植樹を行ったりといった森づくりイベントも頻繁に行われています。森は人の手が入ることによってきれいになり、歩きやすく楽しい森になります。

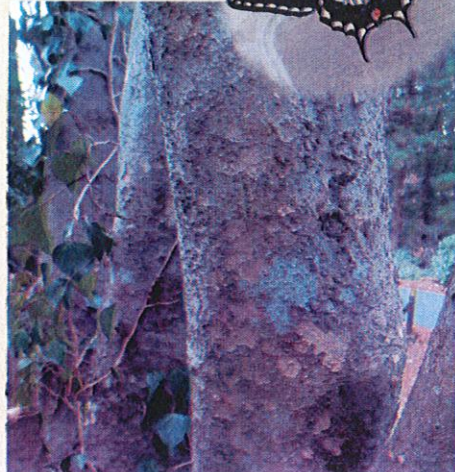
6月には遊歩道沿いの樹木に木の実が熟してきます。鳥たちも喜んでついばみにやってくるでしょう。散歩しながら木の実の出来具合を目で観察し、野鳥の声に耳を傾けてみるのはいかがでしょうか。(亀井)

◆中央記念館◆コーナー vol.13



春から秋にかけて中央記念館には『はらぺこあおむしコーナー』が登場します。

アゲハの幼虫たちがうじゃうじゃ!?何頭いるか、数えられるかなあ?近くで見たり、さわりたい時はスタッフまでお声がけください



ヤマボウシ 山法師
(ミズキ科ミズキ属)

山地の林内で生育し、県民の森内でもよく見られる樹木です。中央記念館のゲートを出てすぐ富谷方面に向かう右側にあり、初夏には白い花を咲かせます。

名前の由来は頭のような花序を僧兵の頭に、白い花びらに見える総苞片を白い頭巾に見立てたとの説です。

果実は球形の集合果となり、かすかに酸味があり甘くねっとりとしています。登山中、山のおやつとして生で食べた時、疲れた体によし頑張ろうと気力がよみがえったことを思い出しました。

成木になると樹皮は10円玉程度の大きさで所々はがれ落ち褐色や灰色のまだら模様が現れます。
(森谷)



◆生き物を大切に!



■春から夏にかけて動物たちは子育ての季節です■

生き物たちの命をつなぐ大切な時期です。貴重な動物たちもたくさんいます。そっと、遠くから応援する気持ちで見守ってください。

けんみんのもり写真館 今月の スタッフが見つけたしぜんのはとコマ

セモンジンガサハムシ 背紋陣笠金花虫 (コウチュウ目ハムシ科)

透明な虫を知っていますか?ジンガサハムシの仲間は体の周囲に透明な薄い板が広がっています。そして、文字通り『陣笠』に似た形をしています。

『金花』とあるように、金色のX型の模様もにぎにぎしい!指輪に欲しいと思うのは私だけ!?

ハムシですから体長4~6mmととても小さい虫です。バラ科の植物の葉を食べるので、サクラやアズキナシの葉にひょっこりとくっついてます。ちょっと、気をつけて探してみてください。5~10月と活動時期も長いです。

幼虫も面白い形をしているらしいので、こちらも要注目!みかけたらぜひワンショットを県民の森までお届けください!

(写真:片岡・文:田沢)



エゾムシクイ 蝦夷虫食 (スズメ目ムシクイ科)

県民の森では聞きなれない「ヒーラーキーヒー」と透き通るような細く高いさえずりが聞こえました。初お目見えのエゾムシクイです。

夏鳥で約12cm、同種のセンダイムシクイと大きさも見かけもよく似ていますが、全体として灰褐色の羽衣です(雌雄同色)。

通常は少し標高が高めの枝が混んだ針広樹林で繁殖します。立ち寄りなのか、ここで繁殖してくれるのか?姿はなかなか見られませんが、さえずりを頼りに静かに見守りたいと思います。

(絵:秀・文:もち)

